

おおいたにじいろ講演会

さいき人権フェスタ

in さいき



令和8年

12月18日 金

17:30～20:20

「会場」 さいき城山桜ホール
大ホール
佐伯市大手町2丁目2番28号

映画

1960年代の日本で実際に起きた事件・裁判から着想を経て制作した映画「ブルーボーイ事件」。LGBTという言葉すら存在しなかった日本で実際に生きた性的少数者の姿に感銘を受け、自身もトランスジェンダー男性である監督がメガホンを取った本作の上映により、性の多様性について考えます。

「ブルーボーイ事件」 上映&監督トークショー

字幕付き

要約筆記・手話通訳付き



©2025『ブルーボーイ事件』製作委員会



- 参加無料(要事前申込)
- 託児あり(無料)

※託児は12/7(月)までに申込フォーム
または電話にてお申し込みください。

申込
方法

- 申込フォーム



- 電話 0972-22-3085
(佐伯市みんなつながる課)



いづか かしろう

監督：飯塚花笑氏

1990年生まれ。群馬県出身。トランスジェンダーである自らのアイデンティティから作られる作風は唯一無二。最新作「ブルーボーイ事件」は、東京国際映画祭ガラセレクションに選出。アメリカ(シカゴ)にて開催されたASEAN Pop Up cinemaにて最高賞を受賞。今、最も注目すべき若手映画監督。自身が体験した“いじめ”や、家族との関係や悩み、現在に至るまでのお話を映画の制作秘話とともにお届けします。

プログラム



第1部 17:30～

- 佐伯市人権標語入選者表彰式
- 全国中学生人権作文コンテスト
佐伯地区大会表彰式

第2部 18:00～

映画「ブルーボーイ事件」
上映&監督トークショー

主催：大分県、大分県人権教育・啓発推進協議会、
佐伯市、佐伯市人権教育・啓発推進協議会

協力：佐伯人権擁護委員協議会、
佐伯市人権・部落差別解消教育研究会

お
問
合
せ
先

大分県生活環境部人権尊重・部落差別解消推進課
☎097-506-3176
佐伯市みんなつながる課
☎0972-22-3085

LGBTなどに関する相談窓口

6色のにじいろ（レインボーカラー）は、性の多様性への理解と共感を表すシンボルとして世界中で使われています。

ジェンダーアイデンティティや性的指向など、
専用の窓口で相談をお受けしています。

大分県では、ジェンダーアイデンティティや性的指向などの悩みについて、相談窓口を開設し、大分県公認心理師協会に所属する公認心理師や臨床心理士により、ご本人やご家族、友人などからの相談をお聞きしています。相談は無料で秘密は守られます。匿名での相談も可能です。安心してご相談ください。

詳しくはコチラ



受付時間 毎週月・水・金曜日 19:00～22:00
相談時間は、お一人1回：最大30分を目安とします。

電話

専用電話

070-4793-4407

SNS

LINEで友だち追加
→チャットで相談



メール

madoguchi-oita13710@au.com

メールでの相談を希望される場合は、上記アドレスをお願いします。
なお、回答は相談開設日となります。

大分県内のLGBT関連支援団体

APU COLORS (APU カラーズ)

立命館アジア太平洋大学のLGBTQsサークルです。LGBTQsの居場所を作ったり、理解を深めたり、広める活動をしています。学外の方も参加できるイベントを日英二言語で開催しています。詳しくはInstagramをご確認ください。



はろっと! おおいた

大分県及びその周辺の地域に在住するLGBTQ+当事者の居場所や交流の場を提供し、交流をとおして生きづらさを軽減することを目的として活動しています。予約不要、途中入退室可。参加費は無料ですが、一人1つお菓子を持参してください



お悩みコンシェルジュ エンデネ Endne

「誰もが安心して生きられる地域社会」を願い、動き回る公認心理師。【モヤるユースとその周りの方へ贈る『居場所ツドエバ』】を県内各地で開催しています。



性のお話ができるおへや マミニコ mami25



LGBTQやSOGIEを含めたみんなの性のお話を、親子講座や公民館などで開催しています。講座は包括的性教育のコンセプトを軸に、人間関係やジェンダー平等について、人が幸せに生きていくために大人も子どもも性別も問わず話し合える形式です。1年に1～2回、講師の先生を迎えて講演会も開催しています。

SOGIE おおいた・ 多様な性への理解を広げる会



～すべての人のセクシュアリティが尊重され、それぞれが自分らしく輝ける社会へ～「SOGIE」への理解を広げようと、交流会や勉強会、講演・啓発活動をしています。

